

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2024（前期）短大共通】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Integrated English	飯泉 恵美子 ライ, ホア	ホリデーカードは、読みやすさを工夫しながら、なかなか美しく仕上がりました。 完成した音声入りカードは、個別指導に配信してありますので、今後に役立てて下さい。
日本語表現法 a	西脇 智子	履修生が意欲的に授業に取り組み、授業に満足したことを大変嬉しく思います。また、説明のわかりやすさや教材のわかりやすさの項目で平均を上回っております結果を受け大変励みになりました。今後も工夫して取り組んで行ければと思います。
情報リテラシー 1 a	飯泉 恵美子	就職すると当然のようにパソコンを使います。 美しく、正しい文書を作成できる力は仕事の場で欠かすことができません。このクラスをスタートにして、生涯活用できるパソコン力を身につけることができたと思います。 クラスの課題は量もあり、なかなか厳しかったはずですが、ひとりひとり、とてもよくがんばったと思います。
女性と心理	大倉 恭輔	半期のおつきあい、ありがとうございました。 授業の最初の方で話したとおり、人間相手の学問の場合、「こうすれば、こうなる」「こういうときは、こうすればよい」という一元的な図式は成り立ちにくいものです。 その上で、心理学が「何をどこまでわかっているのか」について、（動画教材の力を借りながら）基本的な部分は伝えたいつもりです。 これからも、自分や他者について、「こういう人だよ」と安易に決めつけたりネガティブになりすぎたりすることなく、慎重に寛容に接していただく。 一部、理解が追いつかない受講生がいたようです。この授業は、心理学の主要研究領域の基礎知識を学ぶことを目的としていますが、場合によっては、講義対象の研究領域を絞ることを考えてみます。
実践入門セミナー	大倉 恭輔	ノートを使って、わからないことをつぶしていくスキルを身につけて卒業しましょう。 オンデマンドで、ノートテイクをチェックするのは困難なのですが、何か上手い方法を考えて対応したいと思います。
メディア論	大倉 恭輔	半期のおつきあいありがとうございました。 最初に話したとおり、この授業は主要なメディア表現を多面的にみることを主眼としています。 また、歴史的な歩みを理解してもらうこともポイントのひとつです。 そのために、さまざまな視聴覚資料を準備して体験してもらいました。 そのうちのどれかひとつにでも興味を持って、さらに自分で資料を発掘してもらうことを期待しています。 いろいろなメディア表現/ジャンルに触れてもらいましたが、それぞれのジャンルに一定の興味や知識がある受講生とそうでない受講生とで、「わかりやすさ」の面で濃淡が出たようです。 これは一種のデメリットですが、興味のなかったジャンルに触れることで新たな知識・興味を得るきっかけを提供したいと思っています。 この辺のバランスについては、さらに考えてみます。
実践キャリアプランニング	板倉 文彦	本授業は、履修者およびアンケート回答者が少ない科目となっています。 授業評価については、満足度が平均値を下回っており今後の課題として捉えたいと思います。 コメントからは、今後のキャリア・ライフプラン構築に役立つという意見も頂きましたが、上記結果も踏まえてさらなるブラッシュアップを図っていきたいと思います。